

エクスペディション カード記

北米エリア(薄紫)

北米 アラスカ 金鉱探し

アメリカ合衆国最大の州、アラスカには波乱万丈の歴史があります。1741年にベーリングとチリコフが(再)発見し、まずロシア人が入植しました。そして1867年、720万ドルで合衆国が購入し、1959年に49番目の州になりました。廃坑になった金鉱山は1890年のゴールド・ラッシュによる大規模な移民を物語ります。

北米 カナダ コディアックヒグマ

コディアックヒグマはヒグマの一種でグリズリー(ハイイログマ)に似ています。世界で最も大きな熊の種で直立すると3mになります。この絶滅の危機に瀕している熊の名前はアラスカのコディアック島から来ていて、別名アラスカヒグマといいます。

北極海 カナダ 北西航路

500年前から中国へ行く為の最短航路が探されました。マルコ・ポーロの報告以来、伝説の宝を夢見て氷に覆われた北海を進む北西航路が幾度となく試されましたが、初めて通過に成功したのはヨーア号に乗ったロアルト・アムンセンで1906年のことでした。

北米 カナダ トーテム・ポール

トーテム・ポールはアメリカ・インディアンのもっとも知られたシンボルです。伝承は責苦に満ちてますが、想像力の源です。目的はかなり世俗的で、尊厳、業績、自己顕示などを表現する北西インディアンのステータスシンボルです。

北米 ユタ ポプラの森

ポプラはアメリカ中西部の険しい山地で生き残る為に単性生殖、つまりクローンで増えました。ここの大森林は同じ遺伝子の根系で2万年かけてできあがりました。

北米 オハイオ サーペント・マウンド

約2000年前のアデナ文化はマウンドと呼ばれる多くの墳丘墓を造りました。しかし図のサーペント・マウンドの目的はまだはっきりと分かっていません。人工の丘には400mの長さのはっきりとした蛇型の盛り土があります。

北米 ニューメキシコ ヒーラ 岩窟住居

13世紀、ニューメキシコのモゴヨン山に先住民のモゴヨン文化の先住民たちが切り立った崖に寄り添うようなプエブロという住居を造りました。特に興味深いのはミンプレスと呼ばれるモゴヨンの陶器で、とても緻密な対称系の幾何学模様が描かれています。

北米 ニューメキシコ プエブロ・ボニートの遺跡

北米大陸のチャコ・キャニオンで魅力的な先住民の建築物を見ることができます。プエブロ・ボニートの独特な都市は西暦1000年頃に造られ、約800の部屋に1200人以上が住んでいました。1300年頃に住民が去った理由は分かっていません。

北米 イリノイ カホキアのモンクス・マウンド

カホキアの巨大なモンクス・マウンドはエジプトのピラミッドとよく比較されます。高さ30m、面積は7ヘクタールほどある人工の丘です。この丘を造るには60万立方メートル以上の土が必要です。

※カードはサウスダコタになってますが、カホキアはイリノイ州にあります。

北米 メキシコ テノチティラン アステカ都市

湖の真ん中に造られたアステカの首都がありましたが、何も残っていません。メキシコ・シティからいくつかの遺構が見つっています。200年をかけてアステカ人はアメリカのベニスともいえるべき都市を造りました。印象的な神殿都市は1487年に完成しましたが、34年後にスペイン人によって完全に破壊されました。

北米 グアテマラ ティカルの神殿

マヤの昔の首都、ティカルに高さ52mのジャガーの大神殿があります。この地域には2500年前に定住が始まりました。ティカルは千年間忘れ去られていましたが、1848年にこのピラミッド型の都市は地元民の探検によって再発見されました。

大西洋 カリブ 海底都市

50年代以降、海洋考古学が思いがけない脚光を浴びています。船乗りから多くの海底都市の報告がされました。バハマ海域の調査で見つかった石の構造物は大陸棚の一部がかつて海上に出ていたことを意味します。

南米エリア(オレンジ)

南米 コロンビア 黄金の筏

黄金の筏は黄金を持つ「エル・ドラド」(黄金の人)王の伝説を広めました。彼の不当に追放された妻は娘と共に湖に飛び込みました。悲しんだ王は湖に船を出し、全ての財宝を湖に沈めたということです。

太平洋 ガラパゴス諸島 大トカゲ

コロン諸島(別名ガラパゴス諸島)はペルーから1000キロ離れた赤道直下にあります。小さい島々からなる岩の多い土地であるにも関わらず、世界で最も素晴らしい野生生物の生息地の一つです。孤立した異なる種のトカゲは研究者に生命の進化に関する他では見られない観察対象を提供しています。

南米 ペルー インカの都市 マチュ・ピチュ

1911年、伝説のインカの都市がハイラム・ビンハムによって発見されました。険しい山がここを数世紀に渡ってスペインの征服者の目から隠していたのです。緻密に計算された石壇は重い石をミリ単位の誤差もなく加工し作られています。マチュピチュは手付かずで残されたインカの文化の貴重な遺産です。

南米 ブラジル アマゾンの先住民

人がなかなか入り込めないジャングルに守られて、1000年もの間先住民が住んでいました。近代文明の波により、破壊の危険が増しています。北米のような原住民の為に保留地ができるかは疑問です。

南米 ブラジル マラジョの陶器

ブラジルの原住民の陶芸は紀元前千年頃から発達し、細々と19世紀までつづきました。マラジョ島で見つかった陶器は古代コロンビアで最も発達した質の高いものです。とりわけ80センチほどの大きな壺は特に注目を集めています。

太平洋 コン・ティキ号の探検

トール・ヘイエルダールは1944年にインカのものを参考にしてバルサ材の筏を作り、ペルーから出航しました。誰も可能だと信じませんでしたが、筏はポリネシア諸島に到着しました。彼はこの筏が約1万キロを航海できることを証明しました。しかし南米からポリネシアへの移住説はまだ証明されていません。

南米 ボリビア アルティプラノの墓塔

アンデス山脈の起伏の多い広大な高原、アルティプラノの真ん中で蜂の巣のような粘土でできた構造物があります。この粘土の墓塔は現地ではチュルパと呼ばれています。高さは5メートル、幅は3メートルあります。埋葬されていたミイラと副葬品からインカができる前のものとつきとめられました。

南米 ブラジル ジンゲー川のスヤ族

スヤ族はアマゾン川の支流、ジンゲー川流域に住んでいます。人が入り込めないジャングルは原住民を隔離し守りました。しかし現在ではこれらの古くからの先住民でさえ近代文明の影響を受けつつあります。

南米 ブラジル セラ・ド・アナスタシオの洞穴

民族の大移動は紀元前3万~1万年前に南米まで達しました。ここで見つかったブラジルで最も古い洞窟壁画は調査の結果、紀元前1万2千年の石器時代のものとわかりました。これはアフリカやアジアと比べ南米の有史以前の文化が新しいことを物語っています。

太平洋 イースター島のモアイ

イースター島の多くの謎は現在では解明されています。1947年にトール・ヘイエルダールは40トンもあるモアイ像を人力で立てられると証明しました。しかしその機能などはまだわかっていません。

南米 チリ アタカマ砂漠

世界で最も乾燥した砂漠がチリ北部に広がっています。年間降雨量は1ミリ未満です。砂漠は農業に使えませんが、チリの経済にとって重要な世界最大の硝石と銅の鉱脈があります。

南米 ブラジル イグアスの大瀑布

イグアスの大瀑布はブラジルから流れ込む落差72mの息を飲むような景観です。幅2700m以上で川は2つになって半円形に狭い谷へ流れ込んでいます。ブラジルとアルゼンチン、パラグアイの3つの国境のジャングルの中央で大瀑布を見ることができます。

南極 古地図

世界一周をしたジェームズ・クックさえ、伝説の南極探検は18世紀に失敗しました。なぜトルコのトプカプ宮殿にあるピリ・レイスの地図のような16世紀の海図に南極大陸の海岸線が正確に描かれていたのでしょうか？

南極大陸は1820年の始めに2つの国の人間によって発見されました。

※カードでは南極大陸発見が1959年になってますが、これは南極条約締結の年です。

南極大陸 研究基地

図は「国際的」な地であるシンボルとしてロシアの雪上車です。その一方、南極大陸は巨大なパイのように各国が領有権を主張しています。ですが研究の為、領有問題は棚上げされています。

ヨーロッパエリア(薄青)

大西洋 グリーンランド バイキング船

クリストフ・コロンブスより500年前にバイキング(またの名をノルマン人)はアメリカ大陸を発見していました。驚くほど航海に適したロングボートでグリーンランドのバイキングはヨーロッパ全域の海岸に現れました。コンスタンチノーブルまで訪れ、そして11世紀にはシチリアにも国をつくりました。

ヨーロッパ アイスランドの間欠泉

間欠泉は溶岩が地表近くまで来ることによって生じます。溶岩が固まる時に生じる熱エネルギーが地下水を水蒸気に変え、その圧縮された水蒸気が水を吹き出させます。

ヨーロッパ ノルウェー スヴァールバル諸島のライトプレーン

北極の探検は多種多様です。まず経済的な理由、そして研究目的の為に行なわれました。使われる乗り物も自然環境に合わせて多様です。水の調査に軽飛行機とゴムボートを組み合わせたものが二人の研究者に使われました。

ヨーロッパ イングランド ストーンヘンジの祭祀場

ストーンヘンジの環状列石は最大54 tの重さがあり、いくつかは40 km離れた場所から運ばれています。この宗教施設は何度も作り直されており、使用目的は時代によって変わったと考えられています。天文や死者の儀式に使われた徴候があります。

ヨーロッパ スペイン カナリア諸島 クアトロ・プエルタス

グラン・カナリア島で先史時代の住民の驚くべき建築物を見ることができます。その岩窟住居には窓のある壁で区切られた素晴らしい部屋があります。しかし大きな

ホールにつづく4つの大きな入口が開いた溶岩岩の岩盤自体もとても印象的です。

ヨーロッパ イタリア タルクイーニアのフレスコ画

タルクイーニアにはエトルリア文化の素晴らしい遺跡があります。紀元前9世紀頃、エトルリアの国があり、ローマの元になったとも言われます。貴重な絵は芸術、文化、宗教、日常生活に関する事柄を今日に伝えます。またエトルリアは鉱業や精練、金属加工にも優れていました。

ヨーロッパ ギリシア ミケーネの黄金製の仮面

ほとんどの文化はギリシアほど多くの神話や伝説を持ちません。考古学者のシュリーマンはホメロスの叙事詩から、大きな誤解でしたが重要な遺跡、トロイとミケーネを発掘しました。ミケーネの遺跡から発掘された黄金の仮面もアガメムノンのものではなく、それより300年古いものです。

アフリカエリア(黄)

アフリカ マリ共和国 ティンブクトゥのモスク

マリの発展は11世紀、西にある強国ガーナの衰退から始まります。首都ティンブクトゥはムーア人のコルドバ大学と緊密な関係を維持しました。上流階級はイスラム教徒が占め、宗教的な身分差別による奴隷制度が認められています。

アフリカ チュニジア カルタゴの遺跡

紀元前814年にカルタゴが興り、すぐに地中海で最も力のある都市になりました。紀元前4世紀にフェニキア帝国の文化の政治と文化の中心として最も栄えました。しかし第三次ポエニ戦争でローマ軍により破壊されました。残酷なバール神に捧げられた生け贄の子供も滅亡を止められませんでした。

アフリカ アルジェリア サハラの洞窟壁画

サハラ砂漠のいろいろな壁画は多くの年代のものがみつかっています。最も古いものでは紀元前4千年まで遡ります。数多くの異なる年代の壁画でサハラが肥沃だった頃、住みついた人間が最初は遊牧民で後に農耕者になったことがわかります。

アフリカ エジプト ギザのスフィンクス

スフィンクスは寝そべったライオンの体に王や女王の頭がついています。ギザのスフィンクスはファラオの頭がつき、長さ73m、高さ22mあります。

伝説に出てくるスフィンクスはライオンの体に女性の上半身をしており、彼女に見つかった者は謎に答えられないと殺されました。

アフリカ スーダン クッシュのピラミッド

南ナイルの王国、クッシュは紀元前715年にナイル川の全流域を征服しましたが、アッシリアによるエジプト侵入で追い出されました。360年後、クッシュはアスクム(現在のエチオピア)に征服されました。この民族の発祥地は分かっていません。遠く離れたチャドにこの国の名残があります。

アフリカ エチオピア アクスムのオベリスク

高さ30メートルの一つの石でできた大きな石碑がアスクムにあります。言い伝えによると3000年以上前、サバ(シバ)の女王マケダがここを支配していました。伝説では彼女とソロモン王の息子がメネリク1世で1974年までつづいたエチオピア帝国の始祖だということになっています。

アフリカ ナイジェリア イフェの陶製の像

ヨルバ族の首都イフェには写実的に作られた素焼きや青銅の彫刻があります。ヨーロッパの影響を受けていない芸術の発展の証拠です。この都市には8世紀からずっと人が生活しており、考古学的な発掘は不可能です。

アフリカ カメルーン共和国 木の柱

アフリカの文化を物語る芸術的な木の彫刻が現存しています。残念なことに木は朽ちやすい物質です。しかしその技は世代を超えて受け継がれました。多段で描写される木の柱はイエメンの高層木造建築様式やアクスムの石碑を連想させます。

アフリカ コンゴ共和国 木彫り細工

ほとんど全てのアフリカ中部の諸国で古い文化を残す芸術的な木の彫刻が見られます。長持ちしない彫刻ですが、その技は変わらず受け継がれ、古い文化を現在に伝えています。

アフリカ ナミビア共和国 マークの壁画

1917年に技師のマークは突出した岩(アブリ)に壁画があるのを発見しました。描かれた白い女性は地中海のものに似た衣服をまとっていて、クレタの少女を連想させます。5千年以上前に地中海と南アフリカに交流があったのでしょうか？

アフリカ ジンバブエの円錐塔

ジンバブエは黄金の産出で1000年前から発展していました。15世紀に建築様式の変化が起こり、ロズウィ族は18世紀まで石造りの堂々とした建築物を造りました。とても目を惹く立派な円錐状の塔がありますが、入口はなく何の為のものかわかっていません。

インド洋 マダガスカル墓柱

マダガスカル南部のマハファリ族の墓は独特なものです。柱の上に故人の生涯や思い出を表すアロアロとよばれる彫刻を作る古い伝統が現在も続けられています。最近では自動車のような現代の象徴まで墓標にされています。

大西洋 大ダコ

航海が始まった頃から、腕で船を海に引きずり込むリバイアサンの報告があります。迷信混じりですが船乗りたちの話だと、大きなタコようです。この深海の動物は16mもの大きさになります。

インド洋 シーラカンス

1938年の発見は科学者達に衝撃を与えました。それまで総鱗類は350万年前に絶滅したと思われていました。総鱗類は水中や陸上動物の祖先で古生物と陸上の脊椎動物の進化の間にあります。

アジアエリア(黄緑)

アジア ロシア ケイサの気象観測所

気象観測気球とロケットによって高度100kmの大気の状態が観測され、気圧、湿度、温度に関する正確な情報が伝えられます。これまでは天候予測の為でしたが、今ではオゾンの量を調べる必要があります。

アジア ロシア ウラルの洞窟壁画

ウラル山脈のカポヴァ洞穴の壁画は石器時代のグラベツト文化の次に東ヨーロッパに現れた人間が描いたものです。壁画には単色で大きくマンモスやサイ、馬が描かれています。

アジア ロシア ツンドラのピンゴ

ピンゴは大きな地面の霜焼けと呼ばれます。ツンドラは永久凍土の広大な領域です。夏の間、表面の薄い層だけ解けて次の冬にまた凍ります。これらは解けて凍る、濡れて乾くことが繰り返されて膨らみ、70mの高さにまでなることがあります。

アジア ロシア シベリアでのマンモス発見

百年以上前にロシアで氷付けのマンモスが発見された報告を受けて、研究が進められました。しかし動物の肉が保存されても変化がないかは仮説でしかありません。

アジア ロシア オーロラ

極地では幾晩かオーロラを見ることができます。オーロラは太陽から放射される電子が大気中の原子を刺激して輝きます。地球の磁場により、粒子がねじ曲げられる為、極地でしか見られません。

アジア ロシア エスキモー芸術

エスキモーはロシア・アラスカ・カナダ・グリーンランドの北極圏に住む先住民族です。彼らにとっては全ての物に魂が宿っています。シャーマンは日常生活の保護と成功に目を光らせます。シャーマンがいないとエスキモーの村は自然の脅威に対して無防備です。彼らは体の中を見ることができ、手術もできます。図は19世紀の象徴的な仮面です。

アジア カザフスタン パジリク古墳の織物

遊牧民のアルタイ族はアルタイ山脈から名付けられ、紀元前5世紀頃、スキタイ人と密接な関係にありました。クルガンと呼ばれる古墳が発見され、生活様式が分かってきました。クルガンは千年もの間凍りつき、元の状態を保ち、図のような美しいタペストリーが残りました。

アジア ロシア マルタの象牙の鳥

この象牙の彫刻は1万年以上の前のもので人類の初期の芸術です。バイカル湖岸で見つかったもので紀元前1万2千年頃のシベリアから中国に広がっていた狩猟文化のものです。

アジア トルコ アニの城壁

アルメニアは紀元前600年頃から西暦1000年頃まで栄えました。アショト3世はアニを首都にしました。アニは2本の深い谷川にはさまれた高い台地にあります。アショト3世はさらに城壁で囲み入口を一つにしました。この城壁は今も残っています。

アジア ヨルダン ペトラの遺跡

紀元前400年に最初の記録がある王国のナバテアは首都をペルシア湾と紅海を結ぶキャラバンの交易路の間に作り、シリアを支配しました。ペトラは岩窟遺跡により有名になりました。大きなものは幅46m、高さ42mあ

ります。

アジア イラク ウルのジグラット

ウルの街はイスラエルの民の発祥の地とされ、ここからテラの家族がカナーンに移住したとされています。ウルは5000年前シュメールの都市国家の一つとして成立しました。そして大きなジグラットは過去のことを今に伝えます。

アジア ハラッパーのおもちゃ

起源がよく分からない2つの都市(ハラッパーとモヘンジョ＝ダロ)が1921年に見つかりました。調査により4000年以上前のものとわかり、古代に洗練された都市計画があった事を我々に伝えました。図のおもちゃでわかるような牛車が交通の手段として用いられました。

アジア チベット ラサの寺院都市

宗教と文化が混じり合って発達した聖者の国は20世紀半ばに中国の侵入によりなくなりました。マニ車による祈りは独特のものです。いわゆる「車の祈り」は祈祷と同じ働きをします。

アジア 中国 万里の長城

紀元前214年に秦の始皇帝が北方の平原からの侵攻に備えて長城の建築を命じました。しかし1000年後の明朝時代になって現在の2500kmの長さになりました。長城の高さは16m、幅は5mで、その長さはローマからオスロに達する距離です。

アジア イエメン マーリブの月の神殿

伝説のサバ帝国のことはあまりよく分かっていません。50年代の初めに調査が行なわれましたが、作業途中で脱出しなければならませんでした。発見された月の神殿の遺構から、ここでエチオピアの発祥とアラビア文化の一端が確立した事が分かりました。

アジア イラン ペルセポリスのレリーフ

図のレリーフはペルシャ大王クセルクセスです。彼の帝国はそれまでの歴史で最も大きく、インダス川から地中海まで及びました。この帝国は紀元前520年に興り、紀元前330年にアレキサンダー大王により滅びました。その後ササン朝ペルシャがアラビア地方を支配しましたが、642年に崩壊しました。

アジア インド パータリプトラ ストゥーパ

サーンチーの聖地は2000年以上前のレリーフでインド随一の都、パータリプトラの歴史について貴重な記録を残しています。この地は西暦300年頃のチャンドラ Gupta 1世の時代にインドの古典文化を発展させました。
※カードはパータリプトラとなっていますが、盤上の位置も図もサーンチーのようです。したがって訳したカードの内容も(特に)あやふやです。

アジア ミャンマー(ビルマ) パガンのゴドーパリン寺院

パガン王国(1044～1287)の豪華な仏塔や寺院は国境を越えて広く知られていました。マルコ・ポーロさえフビライ・ハンの宮殿で金銀に輝く伽藍の話を伝え聞いたといいます。

アジア 中国 西安 大明宮

西安(長安)は中国の歴代国家の最大の首都と考えられています。最も栄えたのは唐代(618～906)で200万以上の住民がいました。大明宮の建設は唐の皇帝太宗によって634年に行なわれました。大明宮には重大な政務や外国使節の接見の場である含元殿を始めとする30以上の建築物がありました。

アジア 日本 奈良の法隆寺

8世紀に中国の影響を受けて平城京(現在の奈良)の近くに法隆寺が建てられました。長安のような中国の大都市を手本にして権力の集中が図られました。法隆寺には世界最古の木造建築物があります。

太平洋 マリアナ海溝の潜水艇

1960年1月23日、ジャック・ピカールは潜水艇トリエステ号に乗り、地球で最も深い場所に潜りました。特別に開発された潜水艇だけが可能で、この潜水艇は海上の船とケーブルでつながっていません。面白いことに成層圏へ飛ばず気球の失敗からトリエステ号が生まれました。

アジア カンボジア アンコール遺跡

この遺跡は東南アジアで最も大きな建造物の一つです。12世紀にジャヤーヴァルマン7世によって建てられ、多くの慈善事業は称賛されました。クメール文化は2千年前にヒンズーから派生して発展しましたが、1432年にタイに征服され終りを告げました。

オーストラリアエリア(ピンク)

アジア ジャワ ボロブドゥール遺跡

この寺院は大乗仏教の遺跡です。ボロブドゥールは8世紀に作られ、幅123mの方形で高さは40m以上ありました。長い回廊にあるレリーフは仏教の教えだけでなく日常生活も描写しています。巡礼者は回廊を上り、涅槃に近づきます。

太平洋 インドネシアの原住民

ニューギニアのゴロカ族の泥が塗られた仮面の「泥人間」は儀式で大きな意味を持っています。体にも灰色の粘土が塗られ、歪んだ姿で同じく恐怖を与える精霊を表します。しかし現在ではこの仮面の踊りは観光客相手にしか行なわれません。

オーストラリア 西オーストラリア 魔物

アボリジニの伝承によると魔物の「ミミ」は岩の中に住み、鋭い視力と聴力を持っていて、ハンターが近づくとすぐに逃げてしまいます。ですから誰もミミを見たことがないので想像で描かれるしかありません。

オーストラリア アーネムランドの壁画

有史以前のオーストラリアの岩絵や洞窟壁画を見ると、この文化はヨーロッパのような他の文化とは完全に独立して発展していることが分かります。

太平洋 パプア・ニューギニアの彫刻

これはパプア・ニューギニアの死者の人形です。祖先の名声を示す彫刻は太平洋全域で見られます。描写はしばしば非現実的で、はっきりとした極彩色で塗られています。南洋では個々の島の隔絶から多様な文化の創造が引き起こされました。

オーストラリア 西オーストラリア 人形

オーストラリアの伝説によると「グレート・ドリーム」によって世界は生み出されました。生命の誕生は儀式で理解されます。図の人形は儀式の時に魔法を帯びます。長い間、これらの彫刻のような彫刻芸術があることは知られていませんでした。

オーストラリア ノーザンテリトリー エアーズロック

ウルル - カタ・ジュダ国立公園内にある、この一枚岩はカンブリア紀の砂岩でできています。長さは2.5 km、標高863 mです。アボリジニの聖域で100年ほど前に

移民に発見されました。岩は含まれる鉄分の酸化により赤色をしています。

オーストラリア ケイーンズランド レントゲン技法壁画

この図のカンガルーは体の内部が分かるように描かれています。特に興味深いのは内臓の描写です。描いた人が内部を知らなければ描けないものです。

オーストラリア ニューサウスウェールズ アボリジニ

20世紀の初めの頃は、オーストラリアの原住民、アボリジニの生活から石器時代の人間の生活が知ることができると期待されました。しかしアボリジニは高度な社会制度を持っており、原始的な宗教文化と比較することはできませんでした。

太平洋 ニュージーランド 祖先の人形

多くの人形は祖先崇拜と共に部族の伝統やしきたりに密接に関係した精神を表現しています。このような芸術で若い男に祖先の知恵と威厳を教えます。

このリストはゲームのプレイに全く関係しないので、正確さは気にせず訳してます。間違いに気付かれたら、教えていただけると幸いです。

